米国小型株サステナブルグロース・ファンド（愛称：ダイヤの原石）

ハイクオリティとサステナブル・グロースがリターンを生むと考える

2021年4月15日

お伝えしたいポイント

- クオリティ銘柄への投資は長期的に有効と考える
- ハイクオリティとサステナブル・グロースがリターンの源泉
- 運用方針：今後も持続的に成長を続けられる企業に投資

※当資料は、ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメント（以下、ケイン社）のコメントなどを基に大和アセットマネジメントが作成したものです。

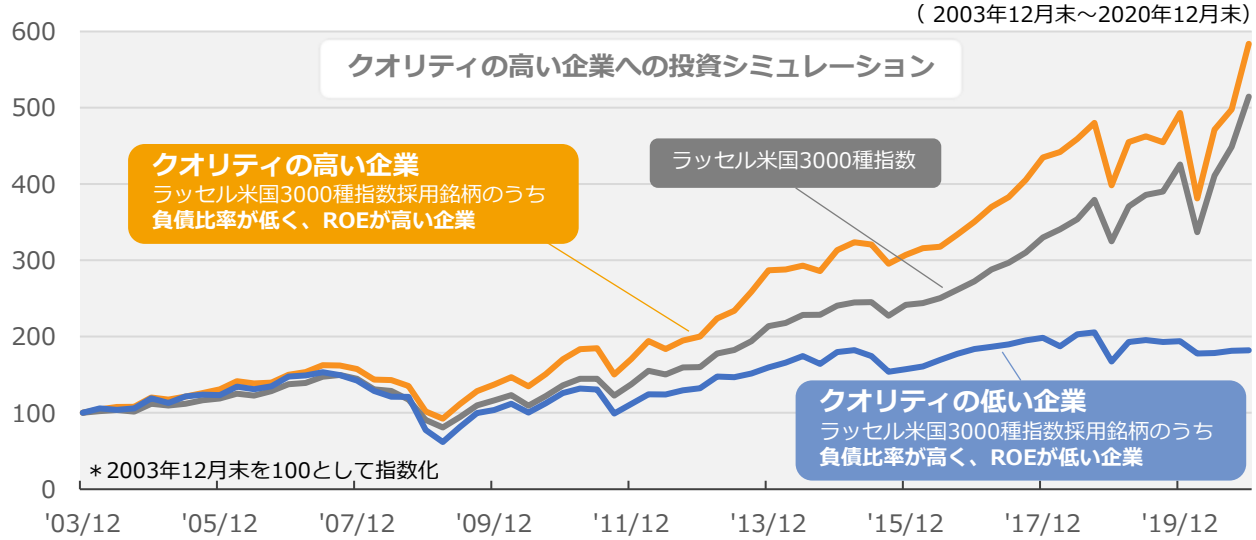
クオリティ銘柄への投資は長期的に有効と考える

ケイン社では下記のチャートが示すようにクオリティ投資が有効だと考えています。

下記チャートはスクリーニングによって銘柄を選出したシミュレーションでありますが、実際の運用においては、競争力の有無および持続性についてボトムアップで綿密に調査することで、ハイクオリティ企業を選別しています。

次ページではそのような銘柄で構成されたポートフォリオの特性とともに、ケイン社の運用手法であるハイクオリティ、そしてサステナブル・グロースの考え方について説明させていただきます。

（2003年12月末～2020年12月末）



※クオリティの高い企業はラッセル米国3000種指数採用銘柄の中から四半期毎のリバランス時にROEが15%以上かつ総資産に対する負債比率が30%未満（クオリティの低い企業はROEが15%未満かつ総資産に対する負債比率が30%以上）の企業を選出し、投資した場合のシミュレーション。
※上記はケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメントが定量的な銘柄スクリーニングによるシミュレーション結果を示したものであり、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません

（出所）ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメント

ハイクオリティとサステナブル・グロースがリターンの源泉

ポイント1

競争優位性×高い利益率 → ハイクオリティ企業

競争力のある企業を探す上で、ROE（自己資本利益率）やROIC（投下資本利益率）の高い企業に着目します。そして調査活動によって、高い利益率が、競争優位性によってもたらされているものかどうかを判定します。

事業の特殊性、ブランド力、価格決定力、コスト競争力など、ビジネスモデルを精査し、中長期的な競争優位性を保てると判断したハイクオリティ企業を選別していきます。

ポイント2

低い負債比率×低い利益変動性 → サステナブル・グロース

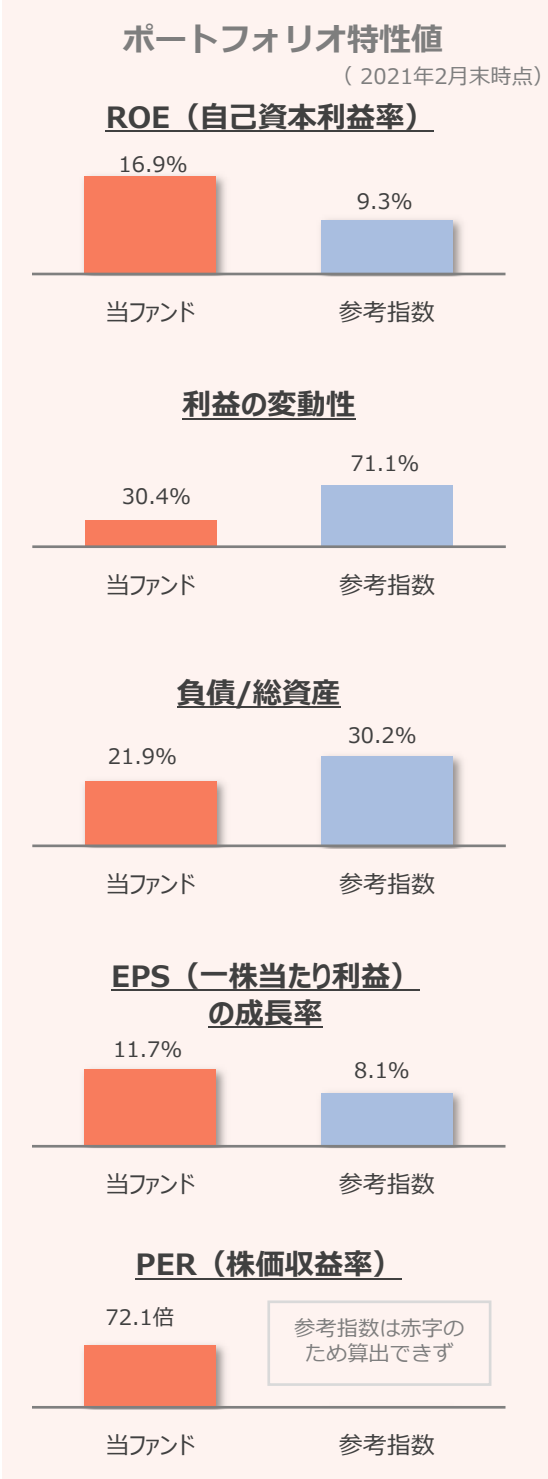
成長企業への投資においても、ビジネスリスクを意識しています。多額の投資を要する資本集約的な事業よりも、アセットライトな企業を好みます。資本集約的な事業はリスクが大きく、体力のある大企業が有利だと考えるからです。このような考えからファンドの負債比率は低くなる傾向があります。

競合が少なく、競争優位性の持続する、経済環境の良いときも悪いときも利益の安定しているハイクオリティ企業が、継続的な成長（サステナブル・グロース）を達成できると考えています。

ポイント3

夢よりも実体。確信度の高い銘柄に投資

小型株投資において期待や夢を積極的に追う投資家もいます。最近では、環境関連株やヘルスケア株などが大きく上昇しています。その中に真に良い銘柄もあるかも知れません。しかし、ビジネスモデルも確立しておらず、誰が勝ち残っていくのか予測不能な銘柄も多いように感じています。ケインではビジネスの実績と見通しの確からしさを判定し、確信度に基づいて銘柄を厳選して投資しています。



※ROEは過去5年間の平均値、※利益の成長率と変動率は過去10年間のEPS（一株当たり利益）のデータを基に算出しています。
※PERの値は過去12か月のデータを基に算出しています。
※参考指数はラッセル2000成長株指数を使用しています。同指数は当ファンドのベンチマークではありません。
（出所）ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメント

運用方針：今後も持続的に成長を続けられる企業に投資

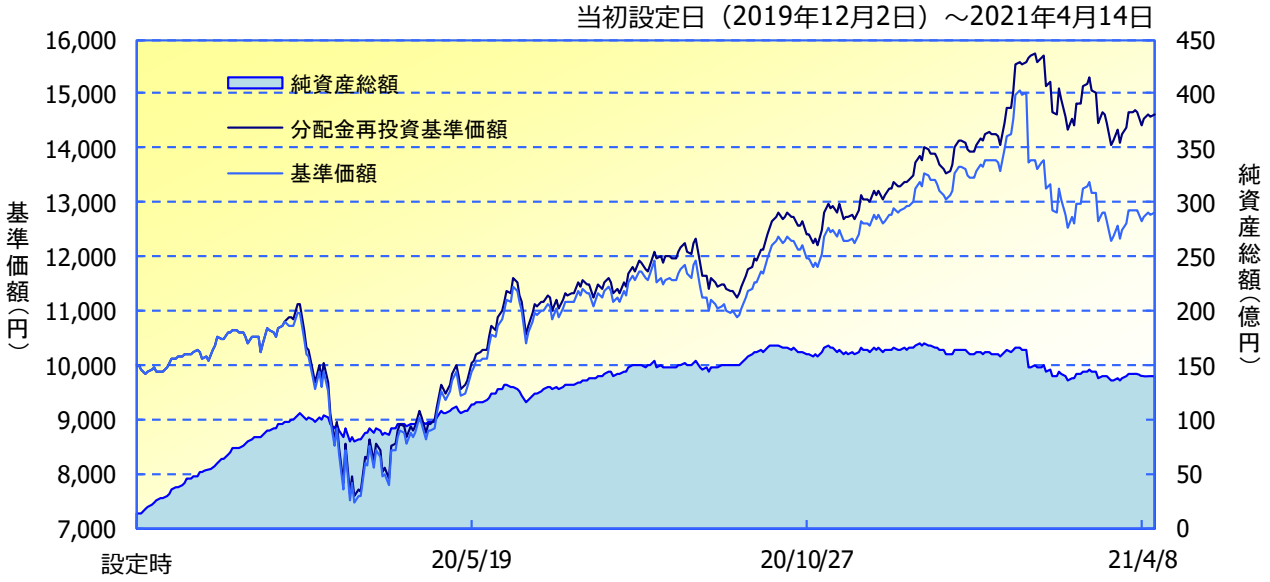
持続的に競争優位性を保持できるハイクオリティ企業を探すことに注力していきます。

十分強固な財務体質を有する企業、自ら創出するキャッシュフローで成長投資を行うことができる企業、独自のビジネスモデルで高い利益率を実現できる企業は、株式市場の上昇局面、下落局面いずれの状況においても、競争優位性を持つと考えます。また、小型株市場は情報が効率的でないため、リサーチによる収益獲得の機会が高いと考えています。

米国小型株市場は2020年11月以降ワクチン開発と景気回復期待から急上昇しましたが、2月以降は米金利上昇を嫌気し調整しています。今後もしばらく値動きが大きくなる可能性はありますが、FRB（米国連邦準備制度理事会）による金融緩和策の継続や景気刺激策などを追い風に良好な投資環境が続くと考えています。また、このような調整局面を経て市場は銘柄を選別していくものだと考えています。マクロ経済の状況にかかわらず、長期的な視点で持続的に競争優位性を保持できるハイクオリティ企業に投資していくことが、長期的なリターンを生んでいくものと考えています。

基準価額・純資産の推移（2021年4月14日現在）

基準価額	12,806 円
純資産総額	139億円



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。
※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

米国の小型株式等に投資し、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

1. 米国の小型株式等の中から競争優位性があり、高い利益率を長期にわたり維持できる企業を厳選し投資します。
（注１）「米国の小型株式」とは、米国の金融商品取引所上場および店頭登録の株式のうち、ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメントが、時価総額をもとに小型と判断した銘柄を指します。
※「株式」にはDR（預託証券）、「上場」には上場予定、「店頭登録」には店頭登録予定をそれぞれ含みます。
（注２）一部、小型株式に該当しない銘柄に投資します。
◆ポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で行なうことを基本とします。
①定量的スクリーニングや業界分析等を通じて、調査対象銘柄を選定します。
②調査対象銘柄に対して徹底的なファンダメンタルズ分析を行ない、企業の持つ競争優位性や経営陣の評価、資本効率等を考慮して投資候補銘柄を選定します。
③業種分散、銘柄分散を考慮して、ポートフォリオを構築します。
2. 米国の小型株式等の運用は、ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメントが行ないます。
◆外貨建資産の運用にあたっては、ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメントに運用の指図にかかる権限を委託します。
3. 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。
マザーファンドは、「米国小型株サステナブルグロース・マザーファンド」です。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

●当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「中小型株式への投資リスク」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」
※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。
※一銘柄当たりの組入比率が高くなる場合があります。
※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 〈上限〉3.3%（税抜 3.0%）	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用（信託報酬）	年率 1.958% （税抜 1.78%）	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
その他の費用・手数料	（注）	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

（注）「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。
※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用：大和アセットマネジメント Daiwa Asset Management

商号等　大和アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第352号

加入協会　一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料のお取扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメント株式会社が作成したものです。

■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。

■投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。

■当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

■当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

■分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

米国小型株サステナブルグロース・ファンド（愛称：ダイヤの原石）　取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社大東銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第17号	○			
株式会社山形銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第12号	○			
池田泉州TT証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第370号	○			
OKB証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第191号	○			
岡三にいがた証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第169号	○			
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○	○		○
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○			○

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。